



ゆり通信

2020年 7月 第2号

気が付けばあっという間に季節も変わり、蒸し蒸しと暑い日が増え、夏の空気が感じられるようになってきました。

4月、5月はコロナの影響もあり、登園自粛のため家庭保育のご協力をいただき本当にありがとうございました。園では、久しぶりに再会したお友達と楽しそうに過ごす子ども達の姿が見られ、毎日元気で賑やかな声が聞こえています。さらにクラスには、夏の風物詩のクワガタも仲間入りし、毎日ゆり組の子ども達に観察されながら、虫かごの中で元気に動いています。

また、雨が降り肌寒く感じる日があったり真夏のようにぐっと暑くなる日があったりと、天気がコロコロ変わる7月は体調を崩しやすくもなるので気を付けていきたいですね。

☆ゆりぐみポスト☆

ゆりぐみになり、文字がとても上手になってきている子ども達。ワークや自分の名前はもちろん、子ども達の間でのお手紙のやり取りも盛んにみられるようになってきました。そんな姿もあり、手紙をもらう嬉しさや手紙を書く楽しさをもっとみんなに味わってほしいという気持ちを込めて、クラスの中にポストを置いてみることにしました。

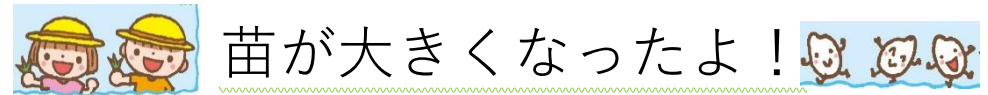
設置初日から興味津々な姿が見られ『これポストだよね!!』『手紙入ってるのかな?』と中を覗き込む子ども達。

まずは私たちが郵便屋さんになり、しっかりと宛名を書くことや出した人の名前を書くことなど、簡単なルールを約束しながら楽しんでいけるように見守ってきたいと思います。そして、これをきっかけにたくさんのお友達とのやり取りや思い出が増えたら嬉しいです。また、保護者の皆様もしお子様宛に手紙を出したい時には、ぜひゆりぐみポストを利用してみてくださいね!!



◆お泊り保育について◆

今年度は、お泊りはせず、レクリエーションを楽しむ形での実施を予定しています。しかし、コロナの今後の状況によっては変更もありますのでよろしくお願いします。詳しくはまた改めてお知らせ致します。



5月の発芽から1ヵ月がたち、小さな葉が出て苗になりお米が沢山収穫できるように、発泡スチロールの容器へ移しました。

まずは泥作りから開始! みんなで力を合わせて土を混ぜ、2人1組になり容器へ移しました。いつも賑やかなゆりぐみの子ども達ですが、この時は言葉も少しくなくなりその顔は真剣!! 土を入れ終わるとさっそく苗の引越しをし、その後はじょうろで優しく水を流しいれ完成!!

『先生! 見て! 出来たよ!』『大きくなるかなあ...』と、これからの成長を楽しみにする子や心配する子など様々でしたが、自分たちの手で植え替えたことにとっても満足そうな表情の子ども達でした。

そしてさらに植え替えてから1ヵ月がたち、今では子ども達の腰上まで成長した苗が保育園の花壇に見られます。毎日、グループごとに当番を決め水やりをしたり、水の中に生えてきた草とりをしたりと成長を観察しながら育てています。最近では、さらにトマトの苗も畑に仲間入りし、また一つ楽しみが増えました。

これから先の収穫を楽しみにしながら、引き続き子ども達と協力し育てていきたいと思えます。

保護者の皆様もぜひ機会があったら子ども達と一緒に苗の成長を見て楽しんでいただければと思います。

